

自分さがし

～進路学習～

進路適性診断テストの結果を受けて



前回の進路学習では「進路適性診断テスト」を受けました。

そして、その結果が返ってきました。個人のものはおうちでも家族と一緒に見てこれからの進路を考えていく一つの手がかりにしてください。

学校には学年全体の傾向が報告されているので一部紹介します。

個々の悩みはあるけど全体的には学校生活を前向きに過ごしている様子がよくわかる結果でした。（前回受けた人は120人です）

◆希望進路について・・・高等学校 107人 高等専門学校 5人 その他 1人
就職 1人 未定 6人

◆進路に対する取り組み・・・全国と学年の傾向を比べると「長所や短所について話することができる」、「将来の生活について夢や希望をもっている」、「得意なことや得意な教科を言える」、「夢や希望の実現について考えている」、「興味や関心をもっている仕事がある」、と回答する生徒が多い。

◆学校生活などの充実度・・・全国と学年の傾向を比べると、「困ったときに相談できる先生がいる」、「部活動に積極的に参加している」、「素直に気持ちを話せる友人がいる」、「生徒会や係り活動に積極的に参加している」、「学校へ行くのが楽しい」とする生徒が多い。

◆悩み・・・学習・・・「授業に集中できない」と答える生徒は少ない。

進路・・・「希望進路に進めるかどうか、とても不安である」と答える生徒は少ない。

対人関係・・・「親が私のことをわかってくれない」と答える生徒は少ない。

生活・その他・・・「人から誤解されることが多い」と答える生徒は少ない。

〈 江井島中学校からよく進学している学校 〉

【県立】 明石、明石北、明石城西、明石清水、明石西、明石南、加古川東、播磨南、高砂、松陽、東播磨、東播工業、農業、神戸商業、

【市立】 明石商業、 科学技術、 神戸高専

【国立】 明石高専

・・・など。他にももちろんあります。

以上の学校はいわゆる〈公立〉の学校です。

国立の公立高校は全国のどの学校も受検することができます。また、工業、農業、商業などに関する高校と専門学科がある高校で兵庫県立の高校はどこでも受検できますが、普通科は学区制があります。

明石は第3学区（明石・加印・北播地区）になります。保護者の方が明石出身であれば、明石の〈総合選抜制度〉の時代だったのではないかと思います。明らかに制度は変わっています。

今回は詳細は省きますが、インターネットでも簡単に調べられるので興味のある人は調べてみてください。

公立高校の合否判定資料について

合否の判定は学力検査と調査書、その他（面接など）を総合して判定されます。

その際、学力検査と調査書は同等に扱われます。

○学力検査・・・国語、数学、社会、理科、英語 各100点満点

500点満点を250点満点に換算

○調査書の内容

・3年間の教科の成績（5段階）

配点(3年)・・・国語、数学、社会、理科、英語 各20点満点

音楽、美術、保体、技家 各37.5点満点

※ 5教科×4 + 4教科×7.5

計250点満点

・生徒会活動、学級活動、クラブ活動等の記録

学力検査250点 + 調査書250点 = 計500点満点

※500点満点と調査書の記録、（面接）等を含めて総合的に判定されます。

※通信制高校では調査書と面接のみで判定されます

